

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果

1.測定結果：

(データ集約:6/3)
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
グラウンド(西北西約500m) ¹	平成25年11月11日	N.D. [1.7×10^{-2}]	N.D. [1.8×10^{-2}]
野鳥の森(西約500m) ¹		N.D. [1.6×10^{-2}]	$(8.6 \pm 1.3) \times 10^{-2}$
産廃処分場近傍(南南西約500m) ¹		$(2.7 \pm 0.81) \times 10^{-2}$	N.D. [2.4×10^{-2}]
国内の土壤(昭和53年～平成20年) ²		N.D. $\sim 1.5 \times 10^{-1}$	N.D. ~ 4.5

[]内は検出限界値を示す

1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。

2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

平成25年11月11日に検出されたPu-238とPu-239+Pu-240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以上